

蛇にピアス (2008)

メディア 映画

ジャンル 青春 ドラマ ロマン스

製作国 日本

色彩 Color

時間 123分

初公開日 2008/09/20

公開情報 ギャガ・コミュニケーションズ

映倫 R-15

【キャッチコピー】

痛くないと、
感じない。

19歳、痛みだけがリアルなら
痛みすら、私の一部になればいい。

【解説】

冠羽20歳での芥川賞受賞で大きな話題となった金原ひとみの同名小説を演出家・蜷川幸雄監督で映画化した青春ドラマ。“痛み”だけでしか生きている実感を得られず、ボディピアスや刺青といった身体改造にハマっていくヒロインの心の軌跡を赤裸々かつショッキングな描写満載で描く。主演は「転々」「きみの友だち」の吉高由里子、共演に高良健吾、ARATA。

現実感のない毎日に苛立ちだけが募る19歳のルイは、ある日渋谷の街で一人の青年、アマと出会う。顔中にピアスをしている彼の舌は、先端が蛇のように2つに割れたスプリットタンだった。それは舌にピアスをあけ、徐々に穴を大きくしてつくったものだった。まったく違う世界に触れ、ルイはその舌に心奪われてしまう。自分も同じような舌になりたいと、アマが紹介してくれた店で舌にピアスをあけるルイ。店長の彫り師シバは、ピアスも刺青もアマ以上だった。シバのほうもルイを見てサディストの血が騒ぐ。ルイはスプリットタンを目指すと同時に、背中に龍と麒麟の刺青を彫ることを決意する。アマとシバ、2人の男に愛されながらひたすら身体改造にのめり込むルイだったが…。

【クレジット】

監督	蜷川幸雄	
製作	宇野康秀 長谷川安弘	
エグゼクティブプロデューサー	星野有香 森重晃	
プロデューサー	梅川治男	
ラインプロデューサー	湊谷恭史	
製作エグゼクティブ	依田巽	
原作	金原ひとみ	『蛇にピアス』（集英社刊）
脚本	宮脇卓也 蜷川幸雄	
CGプロデューサー	豊嶋勇作	
撮影	藤石修	
コスチュームデザイン	勝俣淳子	

美術	稲垣尚夫		
編集	川島章正		
音響効果	柴崎憲治		
	北田雅也		
音楽	茂野雅道		
主題歌	Chara	Chara	『きえる』
照明	渡辺三雄		
録音	弦巻裕		
スクリーンライター	奥平治美		
助監督	山田敏久		
出演	吉高由里子	ルイ	
	高良健吾	アマ	
	ARATA	ARATA	シバ
	あびる優	マキ	
	ソニン	ユリ	
	今井祐子		
	綾部守人		
	市瀬秀和		
	妹尾正文		
	市川亀治郎		(特別出演)
	井手らっきょ		(特別出演)
	小栗旬		(特別出演)
	唐沢寿明		(特別出演)
	藤原竜也		(特別出演)